

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 研創  
 コード番号 7939 URL <http://www.kensoh.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 浦上 忠久  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月6日

TEL 082-840-1000

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	2,772	△19.4	△219	—	△240	—	△429	—
20年3月期第3四半期	3,440	11.3	48	57.5	24	—	△289	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△107.40	—
20年3月期第3四半期	△72.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	5,868	788	13.4	197.08
20年3月期	6,252	1,200	19.2	300.18

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 788百万円 20年3月期 1,200百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭				
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,862	△20.0	△239	—	△263	—	△457	—	△114.28

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】の3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】の4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 4,022,774株 20年3月期 4,022,774株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 23,967株 20年3月期 23,367株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 3,999,107株 20年3月期第3四半期 3,999,007株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年10月31日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】の3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に伴い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、世界的な金融危機による株価の下落、急激な円高等の影響により、企業の設備投資や個人消費が減少し、景気減速に厳しさが増してきました。

当社グループが受注の拠り所としております民間非住宅建築業界におきましても、民間企業の設備投資意欲の減衰によるビル建築着工の中止・延期が多く見られ、ビルに付帯する金属製サインの需要も急減し、経営環境の厳しさは一段と増しております。

このような情勢の中、当社グループは広島本社からの配置転換により営業拠点の内勤業務者を増員配置し、営業担当者は既存顧客の深耕営業、新規開拓等に一層邁進し受注確保に取り組んで参りました。

しかしながら、平成20年10月以降の予想を越える急激な経済状況の悪化により市場の需要減退の影響は大きく、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては27億72百万円となりました。

利益面につきましては、売上高の急激な減少により、営業損失2億19百万円、経常損失2億40百万円、四半期純損失4億29百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

第3四半期における総資産は5,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ384百万円減少しました。その主な要因は売上債権が559百万円減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は428百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間の営業活動の結果得られた資金は331百万円となりました。その主な要因は売上債権が559百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間の投資活動の結果使用した資金は111百万円となりました。この主な要因は固定資産の取得による支出が169百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間の財務活動の結果得られた資金は68百万円となりました。この主な要因は借入金の純増額が103百万円あったことによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界的な景気悪化や円高を背景に、国内企業の業績も急速に悪化する中、建築業界においても今後更に厳しい状況が続き、市場の急激な回復は見込めないと予想します。

従いまして、通期業績予想につきましては、売上高38億62百万円、営業損失2億39百万円、経常損失2億63百万円、当期純損失4億57百万円と予想します。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、これによる影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	522,714	288,887
受取手形及び売掛金	1,128,635	1,688,102
製品	126,140	40,462
原材料	84,434	99,636
仕掛品	38,831	42,856
その他	68,996	66,181
貸倒引当金	△5,845	△5,638
流動資産合計	1,963,909	2,220,487
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,071,987	1,306,944
土地	1,422,080	1,669,818
その他（純額）	468,088	493,789
有形固定資産合計	2,962,156	3,470,552
無形固定資産	25,309	14,739
投資その他の資産		
投資有価証券	286,484	352,580
投資不動産（純額）	492,617	—
その他	180,766	202,491
貸倒引当金	△43,226	△8,307
投資その他の資産合計	916,642	546,765
固定資産合計	3,904,108	4,032,057
資産合計	5,868,017	6,252,545

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	945,464	918,586
短期借入金	1,793,137	1,788,744
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	2,418	6,352
賞与引当金	52,630	53,401
その他	245,957	298,673
流動負債合計	3,039,608	3,075,758
固定負債		
長期借入金	1,594,909	1,495,689
退職給付引当金	97,991	156,693
役員退職慰労引当金	324,498	310,762
その他	22,916	13,116
固定負債合計	2,040,316	1,976,261
負債合計	5,079,924	5,052,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	944,637	944,637
資本剰余金	264,930	264,930
利益剰余金	△408,771	40,851
自己株式	△8,051	△8,006
株主資本合計	792,744	1,242,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,652	△41,887
評価・換算差額等合計	△4,652	△41,887
純資産合計	788,092	1,200,525
負債純資産合計	5,868,017	6,252,545

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	2,772,319
売上原価	1,976,948
売上総利益	795,370
販売費及び一般管理費	1,014,825
営業損失(△)	△219,455
営業外収益	
受取利息	4,646
受取配当金	4,109
受取地代家賃	12,159
その他	9,517
営業外収益合計	30,433
営業外費用	
支払利息	40,338
不動産賃貸費用	7,652
その他	3,917
営業外費用合計	51,908
経常損失(△)	△240,930
特別利益	
固定資産売却益	2,210
償却債権取立益	705
特別利益合計	2,916
特別損失	
固定資産除却損	1,120
固定資産売却損	6,028
投資有価証券評価損	102,111
特別損失合計	109,260
税金等調整前四半期純損失(△)	△347,274
法人税、住民税及び事業税	8,173
法人税等調整額	74,060
法人税等合計	82,234
四半期純損失(△)	△429,508

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△347,274
減価償却費	109,992
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	35,125
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△770
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△58,701
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,736
受取利息及び受取配当金	△8,756
支払利息	40,338
投資有価証券評価損益 (△は益)	102,111
有形固定資産売却損益 (△は益)	3,817
有形固定資産除却損	1,120
売上債権の増減額 (△は増加)	559,466
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△62,815
仕入債務の増減額 (△は減少)	26,878
その他の資産の増減額 (△は増加)	△55,336
その他の負債の増減額 (△は減少)	20,551
小計	379,483
利息及び配当金の受取額	8,756
利息の支払額	△37,425
法人税等の支払額	△18,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△236,000
定期預金の払戻による収入	291,000
有形固定資産の取得による支出	△161,622
有形固定資産の売却による収入	11,235
無形固定資産の取得による支出	△7,859
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	△13,262
貸付けによる支出	△1,400
貸付金の回収による収入	6,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,433
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,393
長期借入れによる収入	858,400
長期借入金の返済による支出	△759,180
社債の償還による支出	△10,000
長期未払金の返済による支出	△5,200
自己株式の売却による収入	189
自己株式の取得による支出	△350
配当金の支払額	△19,844
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,406
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	288,827
現金及び現金同等物の期首残高	139,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	428,714

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

サイン事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,440,798
II 売上原価	2,428,963
売上総利益	1,011,834
III 販売費及び一般管理費	963,252
営業利益	48,582
IV 営業外収益	18,163
V 営業外費用	42,672
経常利益	24,073
VI 特別利益	1,821
VII 特別損失	292,388
税金等調整前四半期純損失(△)	△266,493
税金費用	22,676
四半期純損失(△)	△289,170



## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	△266,493
減価償却費	96,442
貸倒引当金の増減	△208
賞与引当金の増減	△16,528
役員賞与引当金の増減	△3,075
退職給付引当金の増減	14,093
役員退職給付引当金の増減	306,255
受取利息及び受取配当金	△10,103
支払利息	41,216
固定資産除却損	88
売上債権の増減	142,653
たな卸資産の増減	△21,209
仕入債務の増減	17,521
その他資産の増減	△10,760
その他負債の増減	△11,913
小計	277,978
利息及び配当金の受取額	9,533
利息の支払額	△39,493
法人税等の支払額	△88,041
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,977
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△85,500
定期預金の払戻による収入	216,000
有形固定資産の取得による支出	△49,318
無形固定資産の取得による支出	△1,000
投資有価証券の取得による支出	△100,000
敷金・保証金の増減	△13,160
貸付けによる支出	△10,414
貸付金の回収による収入	3,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,708

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減	△116,221
長期借入れによる収入	1,000,000
社債の返還による支出	△55,000
長期借入金の返済による支出	△928,479
長期未払金の返済による支出	△22,810
自己株式の取得による支出	△302
配当金の支払による支出	△39,820
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,634
V 現金及び現金同等物の増減額	△42,365
VI 現金及び現金同等物の期首残高	553,981
VII 現金及び現金同等物の期末残高	511,616